

大綱 4 市民力・にぎわい・活力										
施策 41 市民力・地域力										
実施施策 411 市民活動団体等の活性化										
創生 評価部局： 市民自治部 関連部局： 総合政策部										
実施施策の目標		地域内で活動する市民、事業者、各種団体などの多様な主体が参画する地域自治組織における地域ビジョン等を踏まえた主体的なまちづくり活動を支援する。 地域活動において中心的な役割を担う自治会への加入率を向上させることや、地域自治組織に対して地域総括交付金を交付し、地域の実情に応じた活動を展開いただくことで、より一層、地域コミュニティの基盤強化を図る。 また、市民活動団体等が地域活動や交流の拠点として活用している共同利用施設等を、より有効に活用いただくとともに、そのあり方について、地域組織の参画のもと検討する。 市民活動に対する全般的な支援を行っている市民まちづくりプラザにおいては、市民活動団体等と連携を深めながら、団体間のネットワークづくりの推進など、様々なまちづくり活動を支援することにより、市民活動の活性化を図る。 これらの取り組みを基本とし、地域と市が連携していくことで、地域課題の解決に市民力・地域力が更に発揮されることを目指す。								
令和5年度の計画		地域自治組織におけるコロナ禍での地域活動、また、地域活動の担い手の発掘や、地域の実情に応じた課題解決等、地域ビジョンに基づく活動に対して、地域総括交付金を交付し支援する。 地域自治組織や自治会が行う活動に対して、市から情報提供や助言等を行うなど、それぞれの連携を強化しながら、スムーズに活動が実施できるよう支援する。特に、地域活動における大きな課題の一つである担い手不足の解消に向け、様々な世代の方が地域活動に参画しやすい環境を整えていくことを目指し、地域自治組織等の活動拠点となる共同利用施設等にWi-Fi環境を整備するなど、地域自治組織のデジタル化を支援する。 地域活動や交流の拠点である共同利用施設等について、指定管理者等と連携を密にし、コロナ禍における感染対策をしっかりと行いながら有効に活用いただけるよう支援する。 市民まちづくりプラザにおいて、市民活動団体等のニーズに沿った講座の実施に加え、活動内容や資金確保等への助言のほか、同プラザを拠点とした市民活動団体同士の交流を促進し、団体間のより強いネットワークづくりを推進することにより、市民活動の活性化を目指す。								
令和5年度事後評価		☆☆☆	評価の理由	地域自治組織等のデジタル化をはじめとした地域活動のニーズに柔軟に対応しながら支援し、市民活動の活性化を推進した。						
成果		地域自治組織に対し、地域総括交付金の交付及び活用方法の助言などの支援を行うことで、地域コミュニティの基盤強化を推進した。また、デジタル化に関して、地域自治組織等の活動拠点となる共同利用施設等にWi-Fi環境を整備し、地域活動に活用いただくとともに、伊丹市自治会連合会と協働してホームページ作成やLINE活用講座の開催など、地域のニーズを踏まえながら必要な支援を行い、地域自治組織等のデジタル化を推進した。 共同利用施設等について指定管理者等と連携しながら、地域活動や交流の拠点として効果的に活用いただくとともに、複数の地域において、地域組織の参画のもと、施設の今後のあり方について検討を行った。 市民まちづくりプラザにおいて、様々な講座や相談等を通じて市民活動を多方面から支援し、参画と協働によるまちづくりを推進した。昨年から引き続き、団体同士の交流促進を図る「まちプラ交流カフェ」や活動テーマを括りとした「まちプラ交流イベント」、地域活動のデジタル化や情報発信を推進する講座を定期的に開催するなど、市民活動団体等のニーズに対応した活動支援を行った。								
課題		地域活動においては、担い手不足の解消や役員の負担軽減のための一つ的手段として、デジタル技術を活用した新しい方法での活動が求められているが、地域ごとにその実績や機運の高まりに差があるため、それぞれの地域の状況に応じたきめ細かな支援が必要である。 また、地域自治組織等の活動について、中心となり様々な役割を担っている自治会を含め、多様な団体や立場の方が参画し協働が進むよう支援が必要である。 加えて、市民活動団体等の活動を継続的に支援するとともに、更なる市民活動の活性化を図るため、市民まちづくりプラザの管理運営を担う中間支援組織と連携し、市民活動団体等のニーズに対応できる支援体制を強化する必要がある。								
令和6年度での対策・対応		引き続き、地域自治組織において、地域の実情に応じて課題解決に向けた活動を展開していただけるよう、地域総括交付金の交付及びその活用方法についての助言など支援を行う。また、地域ビジョン策定に取り組む地域に対し、必要経費に対する補助金の交付や意見交換会等への職員の参画等支援を行う。 また、担い手の負担軽減や誰もが参加しやすい地域活動を目指して、拠点施設に整備したWi-Fiの活用方法の助言等支援を行い、地域自治組織等のデジタル化を推進する。 市民まちづくりプラザにおいて市民活動団体等のニーズに沿った講座の実施や、活動の助言等、丁寧な支援を継続しつつ、市民活動がスムーズに取り組めるようコーディネートしながら、市民活動の活性化に取り組む。								
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等	-	基準年度 R元	R3	R4	R5	R6
	①	自治会加入率(%)	↑	自治会の加入率<加入世帯/世帯数>	目標		59	60	60	61
					実績	59	58	56	54	
	②	地域総括交付金交付団体数	↑	地域ビジョン策定が完了し地域総括交付金が交付された地域自治組織の数	目標		11	14	15	16
					実績	4	11	12	14	
	③	共同利用施設等利用人数(人)	↑	利用者人数(R3からは、新型コロナウイルス感染症による影響を加味)	目標		333,600	334,100	334,600	335,100
					実績	400,322	229,033	301,714	342,186	
	④	まちづくりプラザ新規登録団体数	↑	まちづくりプラザ新規登録団体数(R元に関しては開館期間3ヶ月間のみの実績数値)	目標		12	12	12	12
					実績	3	13	17	13	

事務事業 コード	事務事業名	主 要 事 業	R4(千円)		R5(千円)		款項目			担当課
			事業費	人件費	事業費	人件費				
411013	地域自治推進事業	○	57,242	20,342	61,606	26,335	02	01	07	まちづくり推進課
411020	共同利用施設管理運営事業	○	66,761	10,171	66,523	10,194	02	01	14	まちづくり推進課
411032	共同利用施設整備保全事業	○	44,612	7,628	42,902	8,325	02	01	14	まちづくり推進課
411040	姉妹都市交流事業		81	1,695	271	1,869	02	01	07	まちづくり推進課
411052	地域活動拠点整備事業	○	105,657	14,409	168,083	15,291	02	01	14	まちづくり推進課
411060	つつじ賞事業		67	763	79	680	02	01	01	秘書課
411070	市民まちづくりプラザ事業	○	7,481	9,324	7,490	8,920	02	01	07	まちづくり推進課
事業費合計(千円)			R4		R5					
			281,901		346,954					

大綱 4 市民力・にぎわい・活力			
施策 42 都市ブランド			
実施施策 421 都市ブランド戦略の推進			
創生		評価部局： 総合政策部	関連部局： 都市活力部

実施施策の目標	本市への移住・定住促進を目的とし、本市に「訪れたい」「住みたい」「住み続けたい」と思ってもらうために観光スポットやイベント情報をはじめ、安全・安心なまちづくりや子育て施策、交通の利便性や買い物至便など暮らしやすい住環境など、本市の魅力をマスメディアやインターネットなど多様な媒体を活用して効果的にPRする。 また多方面で活躍している伊丹大使や、民間企業等と連携するなど、官民連携を図りながら広くシティプロモーションを実施する。		
令和5年度の計画	日本遺産を活用した「清酒発祥の地伊丹」の推進のため、現状、来訪者の多い片道1時間程度の京阪神エリアを対象として、シニア層に対して更なる誘客を図るとともに、若者層に対して日本遺産の認知度の向上策を実施する。阪神間日本遺産推進協議会として、域内への誘客及び周遊を図るとともに、市内で開催されるイベント等において、日本遺産の講座や伊丹酒の試飲のイベントの開催、日本遺産のPRを実施する。 また、引き続きウェブやSNSの活用、伊丹大使や民間事業者との連携を通じて本市の魅力を多方面からPRする。		
令和5年度事後評価	☆☆☆	評価の理由	官民連携事業として伊丹市PR冊子の発行やインターネットを活用した広告などの効果的な情報発信を実施した。観光入込客数は目標に達しなかったが観光物産ギャラリーの来場者数は目標を達成した。
成果	官民連携で伊丹市PR冊子のリニューアル、及びターゲットへの効果的な訴求のためGoogleリスティング広告とLINE広告により情報発信を実施。伊丹大使を活用した伊丹市への誘致イベントを通じてシティプロモーション事業を実施し、市のSNS公式アカウント等で情報発信した。日本遺産については、伊丹まちなかバルに併せたイベントの開催や空港等でのイベントで、日本遺産及び「清酒発祥の地 伊丹」のPRを行い、認知度向上に繋がった。また、市内小学校での日本遺産に関する出前講座を通じ、地域への「愛着」「誇り」の醸成を図った。		
課題	市内観光地への観光入込客数が低調。		
令和6年度での対策・対応	引き続きウェブやSNSの活用、伊丹大使や民間事業者との連携を通じて本市の魅力を多方面からPRする。阪神間日本遺産推進協議会の構成団体と連携し、各地域のイベントへ参加しPRすることで日本遺産の認知度向上・誘客を図る。また、観光パンフレットを作製・PRを実施することで市内の回遊性の向上・経済の活性化に繋げる。		

成果指標	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	-	基準年度	R3	R4	R5	R6
					R元				
①	観光物産ギャラリー来場者数(人)	↑	観光物産ギャラリーにおける来場・案内者数	目標		35,300	39,200	39,400	39,600
				実績	39,282	30,059	39,002	42,542	
②	観光物産ギャラリー販売額(千円)	↑	観光物産ギャラリーにおける販売額	目標		18,300	22,800	23,000	23,200
				実績	22,879	19,199	28,299	31,241	
③	転入超過数(人)	↑	住民基本台帳における転入超過数(累積)	目標		300	600	900	1,200
				実績	342	-207	119	-413	
④	観光入込客数(千人)	↑	市内観光地への観光入込客数	目標		3,100	3,100	3,100	3,100
				実績	2,738	1,931	2,498	2,365	
⑤	シティプロモーションコンテンツ閲覧数(千回)	↑	伊丹市ホームページ「住みたいまち伊丹」コンテンツ閲覧回数(延総数)年間PV(ページビュー)	目標		48	48	48	48
				実績	34	50	58	46	
⑥	Visit ITAMI投稿数(回)	＝	Visit ITAMIの年間投稿回数	目標		24	24	24	24
				実績	59	19	12	25	

事務事業コード	事務事業名	主要事業	R4(千円)		R5(千円)		款項目			担当課
			事業費	人件費	事業費	人件費				
421010	イベント等推進事業		39,100	10,171	598	11,044	02	01	06	空港・にぎわい課
421023	シティプロモーション推進事業	○	※ 16,590	25,428	4,665	22,937	02	01	06	広報・シティプロモーション課/空港・にぎわい課
421030	観光物産ギャラリー管理運営事業		17,060	2,543	17,799	4,248	07	01	03	空港・にぎわい課
421040	阪神北地域インフォメーション事業		200	5,933	200	5,522	07	01	03	空港・にぎわい課
421052	いたみ花火大会事業		39,000	11,019	34,609	11,468	07	01	03	空港・にぎわい課
421062	TSU・NA・GULいたみGoToキャンペーン事業		9,568	4,238	-	-	07	01	03	空港・にぎわい課/文化振興課

事業費合計(千円)	R4	R5
	※121,518	57,871

※令和5年度行政評価報告書にて訂正

大綱 4 市民力・にぎわい・活力			
施策 42 都市ブランド			
実施施策 422 中心市街地のにぎわい創出			
創生		評価部局: 都市活力部	関連部局: ー

実施施策の目標	市民がまちの魅力を実感し、愛着や誇りを持てるよう、市民や商業者、関係団体と連携・協力して伊丹らしいイベントを実施することにより、にぎわいと活力のあるまちづくりを進める。また、市民とともに体験し共感する中で、市外の方には「住みたい」、市内の方には「住み続けたい」と思って頂けるようなまちづくりに取り組む。 そのために、これまでの歴史資源や観光資源、集積された都市機能、市民や商業者を始めとする関係機関とのネットワークを活用し、利便性に優れた、歩いて楽しい、歩いて暮らせる、質の高い中心市街地のまちづくりを進める。 特に、現状のコロナ禍においても感染症拡大防止策を講じ「新しい生活様式」に対応する中で、市民・事業者等を中心とした「伊丹まちなかバル」に代表されるにぎわい創出イベントの支援や、市民の活発な文化・芸術・まちづくり活動の支援、文化施設と周辺店舗との連携事業の支援などを通じ、活性化事業を推進する。		
令和5年度の計画	第3期伊丹市中心市街地活性化基本計画に基づき、「伊丹まちなかバル」に代表される賑わい創出イベントの支援を市民・商業者・まちづくり会社・商工会議所等多様な主体と連携して進める。また、「市立伊丹ミュージアム」や「日本遺産」を始めとした歴史的資源を活用した事業を推進する。さらに、「エリアマネジメント事業」を通じて、事業者と地権者が繋がる体制の構築を支援し、空き店舗の解消並びに活性化を推進する。		
令和5年度事後評価	☆☆☆	評価の理由	文化施設等利用者数については、市立伊丹ミュージアムがオープン初年度である昨年度より来館者数は減少したため全体として昨年度より減少しているが、三軒寺前広場でのイベント開催数に関しては目標を上回るイベントが開催され、中心市街地の流動人口も増加していることから、まちの魅力・にぎわいづくりに寄与することができた。
成果	にぎわい創出事業に関して、いたみ花火大会や伊丹まちなかバルといった大規模イベントをコロナ禍以前の従来の形式にて開催することができた。また、市立伊丹ミュージアムでは、市内の民間事業者や団体が様々なものを展示、飲食物の販売を行う連携事業「郷町〇店」が60回開催されるなど、にぎわい創出の取組みを多数実施することができた。		
課題	イベント開催日以外の恒常的なにぎわいの創出並びに多様な文化施設とのさらなる連携や活用、魅力のある店舗が連続する商業空間の創出、人口減少に備えた、商業等都市機能の維持が必要である。		
令和6年度での対策・対応	恒常的なにぎわい創出を図るため、文化施設等との連携事業を推進するとともに、官民が連携してエリアごとの価値を向上させるエリアマネジメント促進事業を支援する。		

	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	-	基準年度	R3	R4	R5	R6
					R元				
成果指標	① 文化施設等利用者数(人)	↑	文化施設等8施設(文化・演劇・音楽・美術・工芸・郷町・柿衛・ことば蔵)の利用者数(アウトリーチ事業の参加者数含む)	目標		767,900	891,900	901,900	911,900
				実績	890,863	526,956	798,519	743,409	
	② 三軒寺前広場でのイベント開催数(種類)	↑	三軒寺前広場で実施されたイベントの種類	目標		20	20	21	21
				実績	19	14	24	26	
	③ 中心市街地平均来街者数(休日通行量)(人)	↑	例年10月に実施している休日通行量(歩行者・自転車)調査の1調査地点当りの平均値	目標		6,590			
				実績	8,238	7,050			
	④ 中心市街地4エリアにおける1日あたりの流動人口(4エリア合計)(人)	↑	中心市街地の4エリアにおいて一定時間滞在する住民と来訪者の延べ人数(流動人口)を毎年度末に「DS.INSIGHT」で計測する	目標		102,000	112,200	123,420	135,760
				実績	168,064	99,190	96,918	104,460	
事務事業コード	事務事業名	主要事業	R4(千円)		R5(千円)		款項目		担当課
			事業費	人件費	事業費	人件費			
422013	中心市街地活性化事業		3,098	9,324	3,098	7,646	07	01 02	空港・にぎわい課

事業費合計(千円)	R4	R5
	3,098	3,098

大綱 4 市民力・にぎわい・活力	
施策 43 歴史・文化	
実施施策 431 文化財・郷土資料の保護と活用	
評価部局： 都市活力部	関連部局： ー

実施施策の目標		所有者等のご協力のもと、修史等専門委員会との連携により、現地調査や資料研究に取り組み、その成果を報告することで、本市の幅広く深い歴史を発信していく。 郷土にゆかりのある歴史・民俗資料を収集・保管・展示するため、調査・研究に取り組むとともに、市民からのレファレンスに対応し、主体的な学びの醸成を図る。 市内の文化財保護団体との協働により、文化財の適切な保護・活用と市民啓発に取り組み、郷土に対する理解や愛着を深める。										
令和5年度の計画		引き続き旧村調査等を実施し、その研究成果を「史料集15」として刊行するための調査・研究を行う。「史料集14」での研究成果を、市立伊丹ミュージアムでの展示（橋本香坡関係）に活用する。有岡城跡・伊丹郷町遺跡など市内遺跡において発掘調査を実施するとともに、その成果を、11月開催の伊丹市文化財保護啓発事業の一環として、埋蔵文化財センターで展示や、社会教育施設と連携し講演会等を実施する。										
令和5年度事後評価		☆☆☆	評価の理由	当初の計画どおり『史料集14』での研究成果を活用した展示事業を実施した。また、文化財保護関係団体会員数および事業参加者数は前年度を下回ったが、文化財保護団体と連携した文化財保護啓発事業を行うことができた。								
成果		郷学明倫堂初代教頭・橋本香坡と酒造家との交流に関する調査結果をまとめた『史料集14』の内容を踏まえた展示事業を市立伊丹ミュージアムにて開催し、会期内に関連講演会を実施することで、市内外からの観覧者に調査成果を報告することができた。また、埋蔵文化財については民間開発に伴う発掘調査を行い、適切な記録保存に努めたほか、埋蔵文化財センターでの展示替えを行い、文化財保護団体と連携した文化財保護啓発事業を実施した。										
課題		本市の歴史や郷土に関する理解や愛着を深める手段の一つとして令和6年度以降に市民と協働で行う市内寺院調査について、その研究成果を市民へ還元していく必要がある。文化財保護関係団体については、高齢化に伴い会員数が減少傾向にある。										
令和6年度での対策・対応		『史料集15』令和8年度発刊に向けて修史等専門委員会と連携しながら歴史資料の調査・研究を行うとともに、市内寺院調査の成果を令和7年度発刊の『地域研究いたみ』にて報告するための諸準備を行う。また、埋蔵文化財の記録保存においては民間開発を停滞させないよう発掘調査等業務を適切に遂行し、各文化財保護関係団体との連携に努め、持続可能な文化財保護啓発事業の実施を図る。										
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等		-	基準年度 R元		R3	R4	R5	R6
	①	文化財保護関係団体会員総数(人)	↑	文化財保護関係団体の会員・団員の合計		目標			1,330	1,335	1,340	1,345
						実績	1,332		1,280	1,105	1,058	
	②	歴史民俗・文化財関連事業の参加者数(人)	↑	文化財担当主催・共催、関係団体主催の事業参加者数		目標			6,980	6,985	6,990	6,995
実績						6,984		3,130	4,018	3,538		
事務事業コード	事務事業名			主要事業	R4(千円)		R5(千円)		款項目		担当課	
					事業費	人件費	事業費	人件費				
431010	博物館管理運営事業				-	-	-	-	0	0	0	文化振興課
431020	博物館事業活動推進事業				-	-	-	-	0	0	0	文化振興課
431032	博物館機能移転事業				-	-	-	-	0	0	0	文化振興課
431040	資料修史事業				8,074	6,781	7,398	6,796	02	01	07	文化振興課
431062	伊丹廃寺史跡等買上げ事業				60,610	1,271	0	0	02	01	08	文化振興課(文化財担当)
431080	文化財管理事業				5,381	3,729	5,671	4,672	02	01	08	文化振興課(文化財担当)
431090	埋蔵文化財保存事業				21,020	8,222	21,295	9,345	02	01	08	文化振興課(文化財担当)
431100	文化財保護活用事業				1,153	763	788	1,869	02	01	08	文化振興課(文化財担当)
事業費合計(千円)					R4		R5					
					96,238		35,152					

大綱	4	市民力・にぎわい・活力
施策	43	歴史・文化
実施施策 432 芸術・文化活動の促進		
創生	評価部局：都市活力部	関連部局：総合政策部

実施施策の目標	本市の「文化振興施策にかかる指針」の基本理念「文化芸術がそばにあるまち」に基づき、文化資源を活用し、まちの魅力を高めるため、学校や地域と連携したアウトリーチ事業を実施するなど世代間の交流を図り、若年層を始めとする誰もが身近に文化芸術に触れ合える心豊かな社会の実現を目指す。 また、コロナ禍で行った動画配信など新しい手法を用いた事業を展開するなど文化施策の更なる推進を図る。 市内文化施設では、市民や団体が自らの文化芸術活動を表現できる場として、地域や世代にとらわれることのない多種多様な事業を実施する。 また、市内文化施設が人や店舗、情報が集まる中心市街地に立地している好条件を踏まえ、施設を個々の単位ではなくエリアとして捉え、他施設や周辺店舗等も含めた回遊性のある事業や関係者の連携を強化し、都市の魅力創出や活性化、観光振興にも繋がる事業を展開する。										
令和5年度の計画	本市の「文化振興施策にかかる指針」の策定から5年が経過し、ウィズコロナ・ポストコロナを見据え、本市が目指す文化振興施策の方向性を示す「(仮称)文化振興ビジョン」の策定に着手する。文化3館(文化会館、音楽ホール、演劇ホール)の施設や事業の在り方について引き続き検討する。また施設の安全で快適な利用環境を維持するため、建物の改修や設備の更新を行う。伊丹ミュージアムは、リニューアルオープンして2年目、引き続き魅力ある企画展や関連講座、イベントの実施などによりまちのにぎわい創出を図る。またデジタル技術を活用し、市立伊丹ミュージアムと伊丹市昆虫館をデジタルミュージアム化し、オンラインでの鑑賞体験や学習を可能とすることにより、伊丹の歴史・美術・俳諧・自然に関する文化資源を市内外に発信し、更なる魅力の向上を図る。その他、団体への助言等による活動支援を継続し、市民が文化・芸術に気軽に触れ合える機会を創出する。										
令和5年度事後評価	☆☆☆	評価の理由	文化施設利用者数と文化団体会員数は目標を大きく下回ったが、若者向け事業の参加入場者数は目標を大きく上回り、文化団体イベント来場者数と共催・後援件数は前年度から上昇傾向である。伊丹市文化振興ビジョン策定に着手したほか、文化施設の安全で快適な利用環境の維持に必要な改修・設備更新を行うとともに伊丹デジタルミュージアムを導入した。								
成果	令和6年度の伊丹市文化振興ビジョン策定に向けて文化に対する市民意識調査等を行い、外部有識者で構成する懇話会を発足した。文化3館(文化会館・音楽ホール・演劇ホール)の施設や事業のあり方に関する検討の中間報告を行い、オープン2年目となる伊丹ミュージアムにおいてオンラインでの鑑賞体験や学習を可能とする「伊丹デジタルミュージアム」を導入したほか、施設間連携や地域との連携事業の充実を図った。										
課題	伊丹市文化振興ビジョンは、文化行政を取り巻く社会情勢の変化に対応しつつ市民の意識を踏まえたものとし、持続的・発展的な文化振興施策の方向性を示すことが求められる。また、文化施設を安全・快適に利用できるよう適切な維持管理を行うとともに、老朽化した文化施設の大規模改修を見据えた検討が必要である。伊丹ミュージアムにおいては、まちのにぎわい創出に向けた事業を継続しつつ、さらなる認知度向上を図る。										
令和6年度での対策・対応	伊丹市文化振興ビジョンの策定に向けての市民ワークショップや懇話会の開催とパブリックコメントを経て、年度内の策定を目指す。文化施設の大規模改修に向けた検討に着手するとともに、文化3館の再整備の方向性を定める。伊丹ミュージアムについては「伊丹デジタルミュージアム」の活用を図りながら、施設間連携や地域との連携に向けた取組みの継続と充実を図っていく。										
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等	-	基準年度 R元	R3	R4	R5	R6	
	①	文化施設利用者数(人)	↑	文化施設(文化・演劇・音楽・美術・工芸・郷町・柿衛)の利用者数(アウトリーチ事業の参加者数含む)	目標		406,000	530,000	540,000	550,000	
					実績	528,888	233,461	507,248	430,323		
	②	若者(小・中・高校生)向けの公演事業・講座等の参加入場者数(人)	↑	若者向け公演・講座等の入場者数	目標		8,800	22,000	23,000	23,500	
					実績	18,468	7,214	92,710	34,443		
	③	文化団体イベントへの来場者数(人)	↑	文化団体(茶道・いけばな・芸協・コーラス・シティフィル・市吹・市吹連)の主催による主なイベントへの来場者数	目標		22,000	23,000	24,000	25,000	
					実績	21,891	6,002	12,643	15,027		
	④	共催・後援件数(件)	↑	市民団体の文化事業を支援した件数	目標		66	67	68	70	
					実績	65	35	42	58		
⑤	文化団体会員数(人)	↑	文化団体(茶道・いけばな・芸協・コーラス・シティフィル・合唱団・市吹・伊丹太鼓)の会員数	目標		1,270	1,280	1,290	1,300		
				実績	1,266	1,036	1,017	992			
事務事業コード	事務事業名			主要事業	R4(千円)		R5(千円)		款項目		担当課
					事業費	人件費	事業費	人件費			
432010	文化会館管理運営事業			○	174,217	4,238	185,500	4,248	02 01 07		文化振興課
432020	演劇ホール管理運営事業			○	57,082	4,238	60,438	4,248	02 01 07		文化振興課
432030	音楽ホール管理運営事業			○	83,422	4,238	87,842	4,248	02 01 07		文化振興課
432042	みやのまえ文化の郷再整備事業				-	-	-	-	02 01 07		文化振興課
432050	伊丹ミュージアム管理運営事業<名称変更前「みやのまえ文化の郷管理運営事業」>			○	237,091	5,933	266,744	5,947	02 01 07		文化振興課
432060	文化・スポーツ財団運営補助事業			○	93,639	4,662	86,838	4,248	02 01 07		文化振興課
432070	柿衛文庫運営補助事業				-	-	-	-	02 01 07		文化振興課

事務事業 コード	事務事業名	主 要 事 業	R4(千円)		R5(千円)		款項目			担当課
			事業費	人件費	事業費	人件費				
432082	文化施設整備保全事業	○	157,171	6,781	69,388	6,796	02	01	07	文化振興課
432090	芸術文化振興事業		1,325	5,086	4,525	8,495	02	01	07	文化振興課
432100	文化団体補助事業	○	7,515	6,781	8,209	5,947	02	01	07	文化振興課
432110	鴻臚館管理運営事業		2,418	1,949	2,668	680	02	01	05	秘書課

事業費合計(千円)	R4	R5
	813,880	772,152

大綱 4 市民力・にぎわい・活力	
施策 44 商工業	
実施施策 441 商店街の活性化	
評価部局： 都市活力部	関連部局： ー

実施施策の目標	現在、本市には17の商店街等が存在している。これらの商店街等は様々な業種の事業者によって組織されているが、そのほとんどが小規模企業者であり、大規模店舗等の進出により、個々の事業者は厳しい経営環境におかれている。 そこで、各商店街等では、加盟事業者が協力し合い、それぞれに特色のあるイベント等を実施しており、地域住民の商店街等の利用促進を図るとともに、生活の利便性向上に取り組んでいる。 これらの商店街等の魅力向上につながるイベント活動を支援することで、地域産業の活性化や市民生活を支える小売店の経営安定化を図ることを目指す。											
令和5年度の計画	新型コロナウイルス感染症の影響が続くことが想定される一方で、徐々にイベント活動等の社会経済活動が再開され、商店街等における賑わいも戻りつつあることから、本年度も昨年度に引き続き、商店街等が主体となって実施するイベント事業(活性化等事業)について、商店街等活性化補助制度を活用することで、売上増加や顧客獲得による商店街の賑わいにつなげ、更なる地域産業の活性化や小規模企業者の経営安定化を図る。 また、商店街等組織との情報交換を密にし、イベント実施に際しても企画段階からきめ細やかな助言や対応を行うなど効果的な運営支援を実施することを目指し、もって各商店街等組織の主体性の向上及び組織の継続・強化や加盟店舗増加に繋がるよう取り組む。											
令和5年度事後評価	☆☆☆	評価の理由	商店街等が実施する活性化イベントを支援することで、組織力の強化を図るとともに、消費喚起と地域商業の活性化に繋げることができたため。									
成果	9商店街等13件のイベント事業(活性化等事業)に対し補助を行うことで、地域商業の活性化支援を図ることができた。											
課題	イベント未実施の商店街等に対し、市の支援制度や他商店街組織の事業を共有して、引き続き実施を促す。											
令和6年度での対策・対応	現在17ある商店街に対して、改めて市の支援制度を周知し、商店街の維持や活性化に繋げる。 また、新たな商店街組織の立ち上げや拡充に支援していく。											
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等		-	基準年度		R3	R4	R5	R6
	①	商店街等活性化イベント事業補助金を活用したイベントの数(件)	↑	商店街等活性化イベント事業補助金を活用したイベントの数	目標			16	16	17	17	
					実績	15	13	13	13			
	②	既存商店街等の組織数(団体)	=	既存商店街等の組織数	目標			17	17	17	17	
実績					17	17	17	17				
事務事業コード	事務事業名			主要事業	R4(千円)		R5(千円)		款項目		担当課	
					事業費	人件費	事業費	人件費				
441010	商店街等活性化事業			○	2,722	4,662	3,318	3,398	07	01	02	商工労働課
事業費合計(千円)					R4		R5					
					2,722		3,318					

大綱 4 市民力・にぎわい・活力			
施策 44 商工業			
実施施策 442 中小企業等の起業・経営支援			
創生 評価部局： 都市活力部 関連部局： ー			

実施施策の目標		既存の市内事業者の経営安定化には、経営に関する知識の習得や、円滑な資金繰りが欠かせない。また、世界的な社会経済情勢の変化を察知し、必要とされている製品・サービスに事業をシフトさせていくためには、絶え間ない情報の収集や、設備投資等による事業変革が必要となる。 一方で、柔軟な発想と俊敏な機動力をもって事業に取り組む新規創業者によって、これからの時代に必要とされる製品・サービスが創出されることが期待されている。このような新規創業者は、資金や関連企業とのネットワーク構築が十分でない場合が想定される。 本市では、各種融資の他、起業や経営に関するセミナー等の開催により、既存事業者や新規創業者を支援することで、地域産業の活性化につなげることを目指す。										
令和5年度の計画		コロナ禍の影響が継続する状況において、市内事業者の円滑な資金繰りに繋げる。 また、創業支援等事業計画に基づき、伊丹商工会議所をはじめとする各支援機関と連携し、市内で創業を希望する者に対して、経営指導員及び市担当者による個別具体的な相談等の支援や、創業及び経営継続に資するセミナーを実施することに加えて、創業支援補助金を活用し、創業時に課題となる創業者の初期経費の負担を軽減することで、経営の安定化や余裕をもった資金繰りに繋げ、市域内での創業者の定着・発展に繋がる支援に取り組む。また、既存の市内創業者の経営状況の把握に努める。										
令和5年度事後評価		☆☆☆	評価の理由	中小企業等への融資実行件数は、本市の融資利率より、兵庫県のコロナ関連融資利率の方がより有利であったため件数が伸びなかった。								
成果		創業セミナー・講座はSNSやAIの活用等、時代に適した内容を実施するとともに、コロナ禍で出店が控えられていた飲食店を中心に創業者が増加した。										
課題		長引く物価高騰・円安により市内の様々な業種の事業者で経営環境が安定しない状況が続いている。										
令和6年度での対策・対応		引き続き時代やニーズに適したセミナー・講座を実施する等、中小企業等の経営促進・起業促進に繋がる各種施策を実施する。										
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等		-	基準年度 R元	R3	R4	R5	R6	
	①	中小企業振興融資実行件数(件)	↑	中小企業振興融資実行件数	目標		105	110	115	120		
					実績	100	73	66	35			
	②	セミナー・講座参加者数(人)	↑	市・伊丹商工会議所主催のセミナー参加者数	目標		105	110	115	120		
					実績	101	133	147	209			
	③	セミナー等受講者満足度(点)	↑	セミナー受講者アンケートの満足度平均値(10点満点)	目標		8	8	9	9		
					実績	0	8.7	8.33	8.69			
事務事業コード	事務事業名			主要事業	R4(千円)		R5(千円)		款項目		担当課	
					事業費	人件費	事業費	人件費				
442011	創業支援事業			○	6,980	3,814	8,570	3,823	07	01	02	商工労働課
442020	中小企業振興融資事業			○	216,058	5,933	218,974	4,672	07	01	02	商工労働課
事業費合計(千円)					R4		R5					
					223,038		227,544					

大綱 4 市民力・にぎわい・活力			
施策 44 商工業			
実施施策 443 地域産業の振興と企業活動支援			
創生		評価部局: 都市活力部	関連部局: ー

実施施策の目標		社会経済情勢が大きく変化する中、市内産業を継続的に活性化するためには、新たな事業者の進出や、生産性向上に向けた設備投資等の企業活動への支援が必要となる。本市においては、平成29年に企業立地支援条例を改正し、市内における事業所の新設・増設、雇用の創出等を支援するとともに、中小企業等経営強化法に基づく支援策として、中小企業者の先端設備導入の促進を図っている。 また、中小企業者の経営の安定化やネットワークの構築に向け、産業支援と交流の拠点施設である産業振興センターにおいて、各種セミナーや交流会等を実施している。 これら中小企業者を支援する活動を継続することで、市内産業を活性化させ、継続的な発展を目指す。										
令和5年度の計画		新型コロナウイルス感染症の影響が続き、市内事業者の経営環境の見通しが不透明な中、積極的な設備投資等を通して労働生産性を向上させ、新たな社会経済環境への適応や経営の更なる安定化を図るため、市内外の企業へ各種制度利活用を周知するとともに、製造業をはじめとする事業者に対する奨励金や税の軽減等の支援を検討することで、地域産業の活性化と雇用の創出、及び市内への企業誘致、市内定着の促進を図る。 また、産業振興センターで実施する各種セミナー等については、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた事業経営安定化を主としつつ、伊丹商工会議所等との連携を図り、より効果的な内容となるよう取り組む。										
令和5年度事後評価		☆☆☆	評価の理由	成果指標はいずれも目標に達しなかったが、県の補助制度を活用したプレミアム付商品券事業を実施し、物価高騰の影響を受けた商店街の負担緩和や、生活者への支援を図った。 また、商工会議所への事業補助を通して、市内産業の活性化や継続的な発展に繋がった。								
成果		プレミアム付商品券事業を実施し、物価高騰の影響を受けた商店街等への支援を実施した。商品券は627,416千円分の利用があり、地域産業の活性化に貢献した。また、コロナ禍でこの数年申請が0～1件であった企業立地支援については製造業者2件の計画を認定した。										
課題		長引く物価高騰・円安が企業活動に影響を与えており、企業立地計画や先端設備等導入計画の認定数は目標に対し低調である。また、コロナ禍以降会議やセミナーのオンライン化等もあり、産業振興センターの利用者は減少している。（令和3年度・令和4年度はワクチン接種会場として使用）。										
令和6年度での対策・対応		これまでの事業者支援施策の周知についても積極的に実施しつつ、アフターコロナ、物価高騰、円安など社会情勢の変化に対応した支援について検討していく。また、商工会議所と連携し、ニーズに合わせた企業支援やセミナー実施に取り組む。										
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等		-	基準年度 R元		R3	R4	R5	R6
	①	産業振興センター利用人数(人)	↑	産業振興センター利用人数(R元は改修工事で減少)	目標			57,000	58,000	59,000	60,000	
					実績	26,330	155,820	44,855	32,373			
	②	企業立地計画認定件数(件)	↑	企業立地計画の年間認定件数	目標			3	3	4	4	
					実績	3	0	1	2			
	③	先端設備等導入計画認定件数(件)	↑	先端設備等導入計画の認定件数(現行法はR4まで)	目標			40	40	40	40	
実績					41	30	21	21				
事務事業コード	事務事業名			主要事業	R4(千円)		R5(千円)		款項目		担当課	
					事業費	人件費	事業費	人件費				
443010	商工会議所補助事業				2,016	848	3,240	1,869	07 01 02	商工労働課		
443020	産業振興センター管理運営事業			○	49,971	4,662	53,764	3,823	07 01 02	商工労働課		
443032	伊丹商工プラザ整備保全事業						78,023	2,973	07 01 02	商工労働課		
443041	産業振興施策推進事業			○	395,745	10,171	182,801	8,495	07 01 02	商工労働課		
443051	企業立地支援事業			○	93,945	5,086	72,646	4,672	07 01 02	商工労働課		
443060	計量法関連事業				1,207	3,390	545	1,954	07 01 02	商工労働課		
事業費合計(千円)					R4		R5					
					542,884		391,019					

大綱 4 市民力・にぎわい・活力	
施策 45 都市農業	
実施施策 451 都市農業の基盤強化	
評価部局： 都市活力部	関連部局： ー

実施施策の 目標	都市農業が良好な状態で継続し、多様な機能を発揮し、地域の魅力づくりに貢献することを目指して、以下の施策を展開する。 都市農業の担い手確保のため、認定農業者・認定新規就農者の認定や農業者の知識・技術の向上支援、若手農業者団体の支援などを推進する。 都市農地の保全のため、特定生産緑地制度の普及啓発、農地貸借に係る情報提供や事業認定などにより、生産緑地の維持と活用を推進する。 農業経営の安定のため、農業者の災害や病虫害への対応を支援するとともに、農業保険制度の利用を促進する。 都市農業の普及啓発と多様な機能発揮のため、市民が農作業を体験できる機会の提供や行事の開催、情報発信などにより、都市農業や地域農産物に対する関心を高めるとともに、教育、福祉、行楽、防災などにおける農業の活用を推進する。											
	農業者の知識・技術の向上を目的としたセミナーを開催するとともに、県等の公的機関と連携して経営・技術等に関する指導を行う。 生産緑地制度の普及啓発、農地に関する情報共有、農地貸借に係る事業計画認定などにより、都市農地の保全と活用を推進する。 ウメ輪紋病の影響を受けた生産者の技術講習等に対する支援を行うとともに、県と連携して、出荷が停止されていた植物の生産再開意向等の情報を収集する。 市営家庭菜園の運営を継続するとともに、民間の市民農園も含め、市民が農作業を体験できる多様な機会の提供を推進する。 地域の状況に適した農福連携の手法について検討する。 学校給食での市内産農産物の提供に併せて、農業者による食育講話等を推進する。											
	令和5年度 の計画											
	令和5年度 事後評価											
	成果											
課題												
令和6年度 での対策 ・対応												
成果 指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等		-	基準年度 R元		R3	R4	R5	R6
	①	認定農業者数および認定新規就農者数(人)	↑	認定農業者数および認定新規就農者数	目標			3	4	5	6	
					実績	2	4	6	6			
	②	都市農地貸借法に基づく認定都市農地面積(a)	↑	事業計画認定による年度末時点の農地貸借面積	目標			70	80	90	90	
					実績	55	227	216	228			
	③	市民農園数(箇所)	=	市内の市民農園数(市・民間)	目標			37	37	37	37	
					実績	35	35	39	39			
事務事業 コード	事務事業名			主要 事業	R4(千円) 事業費 人件費		R5(千円) 事業費 人件費		款項目		担当課	
451010	都市農業振興推進事業			○	0 2,543		0 2,549		06 01 03	農業政策課		
451020	農地利用促進事業			○	0 3,390		0 3,398		- - -	農業政策課		
451030	農業者育成支援事業				50 1,271		50 1,274		06 01 03	農業政策課		
451040	災害・病虫害対策支援事業				8 1,695		4 1,699		06 01 03	農業政策課		
451050	都市農業普及事業				0 1,271		540 1,274		06 01 03	農業政策課		
451060	農地機能発揮事業			○	7,509 5,509		7,443 5,522		06 01 03	農業政策課		

大綱 4 市民力・にぎわい・活力	
施策 45 都市農業	
実施施策 452 農作物の生産・流通の推進	
評価部局： 都市活力部	関連部局： ー

実施施策の目標			本市における農作物の生産と流通を活性化し、市内農業者の良好な農業経営につなげるとともに、市民に新鮮で魅力的な農産物を供給できるよう、以下の施策を展開する。 農作物の生産性や品質の向上などに取り組む農業者を支援するための補助制度を実施する。 地産地消の推進のため、市内産農産物等に係る情報発信を行うとともに、学校給食や市内飲食店、販売店で市内産農産物の提供を促進する。 市内産農産物の魅力を向上させ、販売を促進するため、ブランド農産物のPRや新たなブランド農産物の開発を支援する。 公設市場における農産物を始めとする食品の流通を活性化する。									
令和5年度の計画			市民や事業者により市内産農産物の魅力を伝え、需要を拡大するため、市内産農産物の特長、旬の時期、安全性などについての普及啓発を推進する。 飲食店、販売店などにおける市内産農産物の提供に関する情報を市民に発信することにより、市内産農産物の活用を推進する。 市民や事業者の農産物に関する要望を収集し、農業者に伝達する。 たみまるブランド農産物(レモン・文旦・干しいも)のPRを支援する。									
令和5年度事後評価		☆☆☆	評価の理由	・学校給食に市内産農産物を昨年度より1品目多く供給することができた。 ・公設市場における指定管理者制度による運営が円滑に実施された。 ・スマイル阪神の販売高が増加した。								
成果		・学校給食への市内産農産物供給量 7品目 8,126kg ・スマイル阪神の販売高 844,346千円										
課題		・販売店、飲食店における市内産農産物利用の推進 ・市内産農産物のブランド化										
令和6年度での対策・対応		・市内産農産物についての普及啓発の推進 ・たみまるブランド農産物(レモン・文旦・干しいも)のPRを支援 ・市内産農産物の新たなブランド化の検討										
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等		-	基準年度 R元		R3	R4	R5	R6
	①	農地面積(ha)	=	市内農地面積の維持(生産緑地+宅地化農地)		目標			115	115	115	115
						実績	115		110	108	104	
	②	学校給食への市内産農産物供給量(百kg)	↑	学校給食への市内産農産物供給量		目標			64	64	65	65
実績						63		74	88	81		
事務事業コード	事務事業名			主要事業	R4(千円)		R5(千円)		款項目			担当課
					事業費	人件費	事業費	人件費				
452010	農業活性化支援事業			○	4,975	3,814	4,817	3,823	06	01	03	農業政策課
452020	農産物地産地消・販売促進事業			○	0	2,119	0	2,124	-	-	-	農業政策課
452033	伊丹ブランド農産物開拓事業				0	1,695	0	1,699	-	-	-	農業政策課
452040	公設市場管理運営事業			○	0	5,086	2,706	5,097	06	01	03	農業政策課
事業費合計(千円)					R4		R5					
					4,975		7,523					

大綱 4 市民力・にぎわい・活力			
施策 46 雇用と労働			
実施施策 461 就労支援と勤労者福祉の向上			
創生		評価部局： 都市活力部	関連部局： ー

実施施策の目標			性別や年齢に関わりなく、労働者が安心して働くことができる雇用環境の維持や充実に向け、合同面接会や労働相談などを実施し、就労希望者に寄り添った支援を行い、雇用機会を創出する。 また、公民館、市民まちづくりプラザ、青少年センターとの複合施設になった労働福祉会館を、勤労者福祉の拠点施設として事業展開を図り、勤労者をはじめとする利用者の満足度向上を目指す。									
令和5年度の計画			性別や年齢に関わりなく、労働者が健やかに安心して働くことができる雇用環境の維持や充実に向け、兵庫労働局との雇用対策協定に基づき合同就職面接会や労働相談などを実施するなど、就労希望者に寄り添った支援を行い、雇用機会を創出する。 また、青少年センター、公民館、市民まちづくりプラザとの複合施設であるスワンホールにおける労働福祉会館は、勤労者福祉の拠点施設として指定管理者制度を活用した事業展開を図り、利用者の満足度向上を目指す。									
令和5年度事後評価		☆☆☆	評価の理由	合同就職面接会の参加人数を除き、目標値に届かなかったものの、コロナ禍においても若年者及び就職氷河期世代の就労支援や障がい者雇用の支援、労働相談等を実施し、雇用環境の維持・充実に繋げることができた。								
成果			障害者雇用奨励金、若年者就労支援事業、技能功労者表彰、勤労者福利厚生事業補助、労働相談事業等、各種事業を前年度に引き続き実施し、雇用環境の改善等に取り組んだ。また、スワンホール利用者数は微増傾向で19万人を超え、老若男女を問わず多くの市民に活用いただくことができた。									
課題			人手不足に係る多様な労働者の実態把握や求人者と求職者のミスマッチの解消。									
令和6年度での対策・対応			兵庫労働局（ハローワーク伊丹）と連携し、若年者、生活困窮者、子育て中の女性、障がい者を対象に各種就労支援策を実施する。									
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等	-	基準年度 R元	R3	R4	R5	R6		
	①	若年者就労サポート事業により就職につなげた人数(人)	↑	若年者就労サポート事業に参加して就職した人数	目標		12	13	14	15		
					実績	10	8	3	9			
	②	労働相談実施人数(人)	↑	労働相談を実施した相談者の人数	目標		55	60	65	70		
					実績	51	39	48	49			
	③	合同就職面接会参加人数(人)	↑	市内企業合同就職面接会の参加人数	目標		40	45	50	55		
					実績	38	15	16	119			
	④	スワンホール年間利用者数(人)	↑	スワンホール年間利用者数(R元は改修工事で減少)	目標		180,000	190,000	200,000	210,000		
					実績	29,122	147,159	187,588	191,589			
	⑤	外国人労働者の雇用に関する情報等の発信回数(回)	↑	外国人労働者の雇用に関する情報等を発信した回数	目標		1	1	2	2		
実績					1	2	1	1				
事務事業コード	事務事業名			主要事業	R4(千円) 事業費 人件費		R5(千円) 事業費 人件費		款項目	担当課		
461010	雇用奨励金給付事業			○	600	1,271	540	1,699	05 01 02	商工労働課		
461020	若年者就労支援事業			○	4,284	3,390	3,685	3,823	05 01 02	商工労働課		
461030	技能功労者表彰事業				62	1,695	67	2,124	05 01 01	商工労働課		
461040	勤労者福利厚生事業補助事業				416	1,187	416	1,614	05 01 02	商工労働課		
461050	労働相談事業			○	264	932	264	1,359	05 01 01	商工労働課		
461060	労働福祉会館管理運営事業			○	62,959	4,662	58,744	4,672	05 01 02	商工労働課		
461070	伊丹市中小企業勤労者福祉共済事業				-	-	-	-	05 01 02	商工労働課		
事業費合計(千円)					R4		R5					
					68,585		63,716					

大綱 4 市民力・にぎわい・活力 施策 47 空港との共生 実施施策 471 空港周辺の活性化 創生 評価部局： 都市活力部 関連部局： 都市交通部												
実施施策の目標		国や空港運営権者等の関係機関に対し、空港周辺の安全・環境が引き続き確保されるよう要望するとともに、国際便や長距離国内便の規制緩和などを求め、大阪国際空港の利用者利便の向上を通じた本市の活性化を目指す。 兵庫県、周辺市及び空港運営権者等と連携して、大阪国際空港の利用促進及び本市のPRを目的としたセミナーや空港を活用したイベントを実施する。 空港へのアクセスバスを運行するとともに、当該バスの利用を促進する。 民間活力を導入し、本市の観光資源の一つである伊丹スカイパークの集客力を向上させ、空港周辺地域の活性化を図る。										
令和5年度の計画		大阪国際空港の万全な安全・環境対策の確保及び利用者利便の向上のための国際便や長距離国内便の規制緩和などを国土交通省、関西エアポート株式会社及び新関西国際空港株式会社等に対して要望活動を行う。兵庫県、周辺市及び空港運営権者等と連携して、空港の利用促進及び本市のPRを目的としたセミナーや空港を活用したイベントを実施する。 伊丹スカイパークの更なる魅力向上を図るために、民間の優れたノウハウを活用し来園者の増加を目指す。 空港へのアクセスバスを運行するとともに航空需要の回復状況を見ながら、バスの利用促進を図る。										
令和5年度事後評価		☆☆☆	評価の理由	国土交通大臣等に対し、大阪国際空港の活用について計画通り要望活動を行い、安全・環境対策が着実に実施されている。また、空港の利用促進に資するイベント等を計画通りに実施することができた。空港アクセスバスの利便性の向上とPR活動を行い、目標値を上回ることができた。伊丹スカイパークでは、酷暑などの影響により年間の来園者数が減少した。								
成果		大阪国際空港における安全・環境対策が着実に実施されており、また、令和5年度の本空港旅客数は、前年度比114%となるなど、コロナ禍からの回復を見せている。令和5年7月の市バスのダイヤ改正により、大阪国際空港始発便への対応やパターンダイヤ化を行い、アクセスバス利用者の利便性を向上することができた。伊丹スカイパークでは、ビアガーデンやキッチンカーフェスティバルなど来園者が楽しめる新規イベントを実施したことで、来園者に対して高い満足度を維持した。										
課題		大阪国際空港では就航先の制限が設定されているため、航空需要の変化に柔軟な対応が出来ず、利用者利便の最大化が図れない。伊丹スカイパークにおいては、来園者数の増加を図るため、幅広い世代を呼び込むためのイベントの企画・実施が必要。										
令和6年度での対策・対応		空港周辺の安全環境対策及び空港の利便性向上などを関係機関に対して要望すると同時に、空港利用促進に資するイベント等を継続して実施する。空港アクセスバスについては、イベント等を通じた利用啓発を行い、更なる利用促進を図る。伊丹スカイパークについては、民間の優れたノウハウを活用して更なるイベントの充実やPR活動により来園者数の増加と高い満足度の維持を図る。										
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等		-	基準年度 R元		R3	R4	R5	R6
	①	大阪国際空港に関する要望件数(件)	↑	大阪国際空港に関する国土交通省、新関西国際空港株式会社、大阪国際空港運営権者及び航空会社への要望件数	目標			7	7	7	7	
						実績	8	7	7	7		
	②	空港線バス乗降客数(千人)	↑	JR伊丹ー大阪国際空港間を結ぶ路線バスのバス停「大阪国際空港」での年間乗降客数	目標			226	283	340	396	
						実績	566	278	352	416		
	③	伊丹スカイパーク来園者数(千人)	↑	伊丹スカイパーク年間来園者数	目標			710	730	750	750	
実績						682	642	666	607			
事務事業コード	事務事業名			主要事業	R4(千円)		R5(千円)		款項目			担当課
					事業費	人件費	事業費	人件費				
471010	大阪国際空港利用促進事業				341	2,543	220	4,078	02	01	06	空港・にぎわい課
471020	空港アクセス確保事業				1,109	4,238	1,703	4,248	02	01	06	交通政策課
471030	伊丹スカイパーク管理運営事業			○	19,521	6,781	19,114	6,796	08	03	05	公園課
471042	伊丹スカイパーク整備保全事業				10,009	2,543	0	0	08	03	05	公園課
事業費合計(千円)					R4		R5					
					30,980		21,037					

大綱 4 市民力・にぎわい・活力	
施策 47 空港との共生	
実施施策 472 空港周辺の生活環境の保全	
評価部局： 都市活力部	関連部局： ー

実施施策の目標		「空港との共生」のために不可欠な大阪国際空港周辺における安全と環境を引き続き確保し、市民の静穏な生活環境を保持することを目指す。 そのために、大阪国際空港や航空全般の情勢を注視しつつ、市内3箇所（西桑津測定局、北村測定局、大野測定局）において常時測定を行なう航空機騒音監視システムによる騒音調査結果をもとに、国や空港運営権者等の関係機関に対し、安全・環境対策に万全を期し、そのために必要な予算及び地方財源を確保するよう、大阪国際空港周辺市及び全国民間空港関係市町村と連携した運動により強力に働きかける。発生源対策をはじめとする騒音対策の不断の努力を促す。 また、大阪国際空港周辺に所在する対象住宅の静穏な生活環境の保持に資するため、民家防音空気調和機器工事に係る住民負担の軽減を図る。										
令和5年度の計画		大阪国際空港周辺都市対策協議会及び全国民間空港関係市町村協議会の事務局として運営を担い、万全の安全・環境対策の実施並びにそのために必要な予算及び地方財源の確保に加え、利用者利便に沿った空港運用及び航空ネットワークの維持・充実に向けた取組がなされるよう要望書を取りまとめ、要望活動やフォーラム・研修会等を実施する。民家防音空気調和機器工事に係る住民負担軽減制度を利用できる対象住宅に対して、適切に制度の案内を行い、住民負担の軽減を図る。										
令和5年度事後評価		☆☆☆	評価の理由	伊丹市航空機騒音監視システムの結果を取りまとめた騒音調査年報（暦年）をもとに、騒音低減に向けて、国や関西エアポート㈱等に対し、騒音の現状について報告し、引き続き騒音抑制を講じるよう要望を行った。								
成果		大阪国際空港を発着する航空機の90%以上が低騒音機となるなど、空港周辺の安全・環境対策が着実に実施された。その結果、発着回数はコロナ禍前と同等まで回復しているものの、騒音値はコロナ禍前の令和元年より低減している。										
課題		過去と比較して騒音は低下しており成果指標における基準値に達しているものの、北村測定局、大野測定局において環境省の示す環境基準を達成できていない。										
令和6年度での対策・対応		騒音値の傾向を引き続き注視するとともに、航空機騒音低減に向けて国や関西エアポート㈱等への働きかけを継続する。										
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等	-	基準年度 R元	R3	R4	R5	R6		
	①	西桑津測定局の騒音値(Lden)	↓	西桑津測定局の航空機騒音調査結果（年平均）。基準値をR1の実績値(Lden62)とする。	目標		62	62	62	62		
					実績	62	57.8	60	60.6			
	②	北村測定局の騒音値(Lden)	↓	北村測定局の航空機騒音調査結果（年平均）。基準値をR1の実績値(Lden68)とする。	目標		68	68	68	68		
					実績	68	63.5	66	66.8			
	③	大野測定局の騒音値(Lden)	↓	大野測定局の航空機騒音調査結果（年平均）。基準値をR1の実績値(Lden61)とする。	目標		61	61	61	61		
					実績	61	57.4	59.3	59.9			
事務事業コード	事務事業名			主要事業	R4(千円)		R5(千円)		款項目		担当課	
					事業費	人件費	事業費	人件費				
472010	航空機騒音対策事業				896	1,695	1,063	3,228	02	01	13	空港・にぎわい課
472030	空港周辺都市対策協議会事務				109	5,086	320	7,561	02	01	13	空港・にぎわい課
事業費合計(千円)					R4		R5					
					1,005		1,383					

大綱4 市民力・にぎわい・活力

411	市民活動団体等の活性化							
411013	地域自治推進事業	まちづくり推進課						
【事業概要・成果】 14の地域自治組織(伊丹・有岡・稲野・摂陽・鈴原・笹原・神津・緑丘・池尻・花里・昆陽里・天神川・荻野・鴻池)へ地域総括交付金を交付することにより、地域コミュニティの基盤強化を推進した。 地域総括交付金や事業に対する補助金等の交付、その活用方法の助言等、アフターコロナにおけるスムーズな地域活動を支援した。 伊丹市自治会連合会と協働してホームページ作成やLINE活用の講座を開催するなど、地域のニーズを踏まえながら必要な支援を行い、地域自治組織等のデジタル化を推進した。								
地域自治組織設立数(累計) <table border="1"> <tr> <th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr> <tr> <td>15</td><td>15</td><td>15</td></tr> </table>			R3	R4	R5	15	15	15
R3	R4	R5						
15	15	15						
地域ビジョン策定組織数(累計) <table border="1"> <tr> <th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr> <tr> <td>12</td><td>14</td><td>14</td></tr> </table>			R3	R4	R5	12	14	14
R3	R4	R5						
12	14	14						
地域総括交付金交付組織数(累計) <table border="1"> <tr> <th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr> <tr> <td>11</td><td>12</td><td>14</td></tr> </table>			R3	R4	R5	11	12	14
R3	R4	R5						
11	12	14						

411020

共同利用施設管理運営事業

まちづくり推進課

【事業概要・成果】

地域のコミュニティ活動の場として、地域で構成される指定管理者と連携し、利用者の利便性及び安全性に配慮しながら、適正に管理運営を行うことで、利用者数の増加につながった。

また、地域自治組織等の活動拠点となっている共同利用施設等に、デジタル化を支援するため、Wi-Fi環境を整備した。

種 別	施 設 数	R3		R4		R5	
		利用者数 (人)	前年度比	利用者数 (人)	前年度比	利用者数 (人)	前年度比
1種(80㎡以上120㎡未満)	11	18,441	110.1%	23,337	126.5%	25,739	110.3%
2種(120㎡以上310㎡未満)	28	70,282	111.2%	89,407	127.2%	96,963	108.5%
3種(310㎡以上500㎡未満)	24	108,896	107.2%	147,568	135.5%	152,668	103.5%
4種(500㎡以上)	7	31,414	100.9%	41,402	131.8%	66,816	161.4%
合計	70	229,033	107.7%	301,714	131.7%	342,186	113.4%

令和5年7月1日にすずはら地区交流センター(4種)を供用開始し、ゆうかりセンター(3種)、南菱センター(2種)、さつきセンター(2種)を廃止

411032	共同利用施設整備保全事業	まちづくり推進課								
【事業概要・成果】										
地域コミュニティ活動の拠点施設として、安全かつ快適に利用していただくため、保全計画に基づき、利用者の快適性の向上につながる適切な維持管理のための改修を行った。										
<table><tr><th>改修内容</th><th>センター名</th></tr><tr><td>屋根及び外壁改修工事</td><td>昆陽センター、南野センター</td></tr><tr><td>Wi-Fi環境整備</td><td>各小学校区拠点施設</td></tr><tr><td>空調設備改修工事</td><td>上須古センター、せつようセンター、鴻池センター</td></tr></table>			改修内容	センター名	屋根及び外壁改修工事	昆陽センター、南野センター	Wi-Fi環境整備	各小学校区拠点施設	空調設備改修工事	上須古センター、せつようセンター、鴻池センター
改修内容	センター名									
屋根及び外壁改修工事	昆陽センター、南野センター									
Wi-Fi環境整備	各小学校区拠点施設									
空調設備改修工事	上須古センター、せつようセンター、鴻池センター									

411052	地域活動拠点整備事業(共同利用施設等集約化事業)	まちづくり推進課
【事業概要・成果】 小学校区単位で地域の合意形成を図り、共同利用施設等の集約化を行う。 地域のコミュニティ活動の拠点施設として、鈴原小学校区において、すずはら地区交流センターを整備した。 伊丹小学校区において、(仮称)伊丹交流センターの実施設設計を行い、建築工事を開始した。 有岡小学校区・南小学校区において、新拠点施設のあり方について地域との協議を実施した。		
		 すずはら地区交流センター 敷地面積: 約850㎡ 延床面積: 約516㎡

大綱4 市民力・にぎわい・活力

411070

市民まちづくりプラザ事業

まちづくり推進課

【事業概要・成果】

指定管理者である特定非営利活動法人シンフォニーが管理運営を行い、様々な講座や相談等を通じて市民活動を多方面から支援し、参画と協働によるまちづくりを推進した。

特に、「まちプラ交流カフェ」や防災をテーマとした「まちプラ交流イベント」の開催により、団体同士の交流や情報交換の促進を図ったほか、地域活動のデジタル化と情報発信を推進する講座の開催など、市民活動団体等のニーズに対応した支援を行った。

市民まちづくりプラザ運営実績

年度	開館日数	来館者数	活動相談件数	講座等開催件数	講座参加者数	新規登録件数
R3	308日	1,036人	99件	60件	594人	13件
R4	308日	1,138人	125件	68件	697人	17件
R5	308日	1,127人	92件	63件	785人	13件

421	都市ブランド戦略の推進	
421023	シティプロモーション推進事業	広報・シティプロモーション課/空港・にぎわい課
【事業概要・成果】 官民連携事業としてPR冊子の発行や、ターゲットへの効果的な訴求のためGoogleリスティング広告とLINE広告により情報発信。伊丹大使を活用した伊丹市への誘致イベントを通じてシティプロモーション事業を実施。 日本遺産については、イベントを開催し、日本遺産のストーリーや伊丹酒の講座を通じて日本遺産及び「清酒発祥の地伊丹」のPRを行い、認知度向上に繋げた。また、市内小学校での日本遺産に関する出前講座も行い、地域への「愛着」「誇り」の醸成を図った。		
		 ◀【PR冊子 イイ! いたみ】  ▶【日本遺産関連イベント】

432

芸術・文化活動の促進

432010

文化会館管理運営事業

文化振興課

【事業概要・成果】

「仮面ライダースーパーライブ」や「よしもとお笑いライブ」など集客効果のある鑑賞事業に加え、大阪交響楽団によるアウトリーチ事業や次世代を担う子どもの育成事業を幅広く展開。地域や事業者等と連携した「伊丹オトラク」や市民企画公募事業「いたmeets（み〜つ）」など市民参加の機会を提供し、幅広い文化芸術の振興に寄与した。事業参加者は34,567人、総入館者は151,395人であった。

文化会館利用実績

区分	使用件数		
	R3	R4	R5
大ホール	229	256	240
” 楽屋(6室)	864	937	922
中ホール	298	331	320
” 講師控室	137	148	177
多目的ホール	352	307	330
” 講師控室	85	94	114
会議室(4室)	1,027	1,089	1,073
和室(3室)	300	324	313
練習室(3室)	1,509	1,581	1,611
ブレイルーム	208	237	199
合計	5,009	5,304	5,299
利用人数計	121,675	153,522	151,395

432020	演劇ホール管理運営事業	文化振興課		
【事業概要・成果】				
中学・高校演劇部による演劇の祭典「アイフェス！！」や中高生のためのワークショップ、演劇講師を派遣してのアウトリーチ事業など次世代を担う子どもの育成事業を多数実施。ワークショップや講座事業により市民の自由な創造活動を促進し、文化芸術の発展に寄与。事業参加者は5,218人、総入館者は34,518人であった。				
演劇ホール利用実績				
区分	使用件数			
	R3	R4	R5	
イベントホール	172	175	159	
カルチャールームA	855	1,076	1,171	
カルチャールームB	441	518	495	
合計(件)	1,468	1,769	1,825	
利用人数計(人)	28,676	35,464	34,518	

大綱4 市民力・にぎわい・活力

432030

音楽ホール管理運営事業

文化振興課

【事業概要・成果】

世界各国の音楽を紹介する「aiphonic地球音楽プログラム」公演をはじめ、気軽に音楽文化や多彩な楽器に親しむ「文化サロン」や「音楽教室」を実施。また、伊丹シティフィルハーモニー管弦楽団や伊丹市民オペラなど、市民団体との連携事業に取り組み、音楽を身近に感じる「市民のための音楽広場」を目指した事業を展開した。事業参加者は11,202人、総入館者は92,579人であった。

音楽ホール利用実績

区分	使用件数		
	R3	R4	R5
メインホール	314	328	329
小ホール1	305	347	333
小ホール2	478	552	541
練習室(3室)	2,625	3,184	3,832
合計(件)	3,722	4,411	5,035
利用人数計(人)	63,726	82,421	92,579

432050	伊丹ミュージアム管理運営事業	文化振興課																					
【事業概要・成果】 絵本作家ピーター・シスの日本初の大規模個展をはじめ、近現代の女性俳句の歴史を紹介する「稲畑汀子と宇多喜代子 女性の時代の俳句」展と、同じ時代の女性の嗜みや装いなどを紹介する「モダンガールのたしなみとよそおい」展を同時に開催した。また、展覧会に関連した講演会等を実施することで事業の波及効果を図った。さらに、文化財建物を活用して、市内事業者、福祉施設、市内高校生等との連携による「郷町〇(まる)店」や「鳴く虫と郷町」を実施し、中心市街地のにぎわい創出にも寄与。展示事業の観覧者を含む事業参加者は117,782人、総入館者は120,935人であった。																							
伊丹ミュージアム利用実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th><th>R4</th><th>R5</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>旧岡田家住宅・酒蔵</td><td>83</td><td>74</td></tr> <tr> <td>旧石橋家住宅</td><td>99</td><td>141</td></tr> <tr> <td>貸室 計(件)</td><td>182</td><td>215</td></tr> <tr> <td>*文化財利用人数</td><td>93,888</td><td>70,948</td></tr> <tr> <td>展覧会観覧者</td><td>131,350</td><td>49,987</td></tr> <tr> <td>利用人数計(人)</td><td>225,238</td><td>120,935</td></tr> </tbody> </table> * 貸室利用、見学者、クラフトショップ来店者等の延べ人数			項目	R4	R5	旧岡田家住宅・酒蔵	83	74	旧石橋家住宅	99	141	貸室 計(件)	182	215	*文化財利用人数	93,888	70,948	展覧会観覧者	131,350	49,987	利用人数計(人)	225,238	120,935
項目	R4	R5																					
旧岡田家住宅・酒蔵	83	74																					
旧石橋家住宅	99	141																					
貸室 計(件)	182	215																					
*文化財利用人数	93,888	70,948																					
展覧会観覧者	131,350	49,987																					
利用人数計(人)	225,238	120,935																					

432060	文化・スポーツ財団運営補助事業	文化振興課
【事業概要・成果】 (公財)いたみ文化・スポーツ財団第3次経営計画に基づき、多彩で魅力ある芸術文化事業の推進と本市における文化、生涯学習及びスポーツ施策の推進を図った。施設間連携を強化するとともに、市民や周辺店舗等との協働・連携による「鳴く虫と郷町」や「伊丹オトラク」の開催、「キッズフェスいたみ」や「鑑賞 de 寄つく! itami」の実施により、中心市街地の活性化と市民主体の文化活動の促進を通じて、地域社会の発展と豊かな市民生活の形成に寄与した。		
		 「伊丹オトラク」

432082	文化施設整備保全事業	文化振興課
【事業概要・成果】		
経年劣化が進む文化施設及び設備 に対して、利用者に安全・快適に利用 していただけるよう、建物や設備の改 修を計画的に実施。利用者の満足度 の向上を図った。		
【文化会館】		
個別空調設備改修工事(第3期)		35,728千円
舞台吊物機構シーブ更新工事		22,550千円
ピアノオーバーホール		3,828千円
非常用自家発電機起動用蓄電池更新工事		1,955千円
【音楽ホール】		
ピアノオーバーホール		3,575千円
【その他修繕】		
		1,752千円

大綱4 市民力・にぎわい・活力

432100	文化団体補助事業	文化振興課								
【事業概要・成果】										
個性的で良質な文化芸術の振興や伝統文化の継承に努める団体活動に対する支援を通し、市民に鑑賞や体験・活動の機会を提供した。また、各文化団体の自立運営が可能となるよう支援を行った。										
指標／項目	年度	伊丹市茶道協会	伊丹市いけばな協会	伊丹市芸術家協会	伊丹シティフィル管弦楽団	伊丹市民混声合唱団	伊丹市コーラスグループ連絡協議会	伊丹市吹奏楽団	伊丹太鼓の会	合計
団体会員数(人)	R3	143	106	75	107	20	504	60	21	1,036
	R4	140	100	76	110	29	473	68	21	1,017
	R5	143	84	80	102	27	473	67	16	992
指標／項目	年度	伊丹市茶道協会	伊丹市いけばな協会	伊丹市芸術家協会	伊丹シティフィル管弦楽団	伊丹市民混声合唱団	伊丹市コーラスグループ連絡協議会	伊丹市吹奏楽団	伊丹市吹奏楽連盟	合計
文化団体イベント参加人数(人)	R3	113	456	476	2,475	199	84	1,195	1,004	6,002
	R4	1,296	780	1,509	3,796	290	1,455	2,358	1,159	12,643
	R5	846	573	1,775	5,898	550	2,035	1,750	1,600	15,027

441	商店街の活性化																									
441010	商店街等活性化事業	商工労働課																								
【事業概要・成果】 市内の商店街等が組織として実施する商業活性化事業(イベントなど)の経費の一部を補助する。 令和5年度は、前年に引き続きコロナ禍の影響や物価高騰で落ち込んだ地域経済を活性化させるため、補助事業の利用促進を図るとともに、賑わいの創出と店舗間のコミュニケーション向上につなげた。 (9商店街等イベント実施件数13件)																										
		<table><tr><th>商店街等名称</th><th>事業名</th></tr><tr><td rowspan="3">伊丹酒蔵通り協議会</td><td>まち灯りと鳴く虫</td></tr><tr><td>冬のまち灯り</td></tr><tr><td>酒蔵通りNEWS</td></tr><tr><td rowspan="3">西台商店会</td><td>西台流しそうめん大会</td></tr><tr><td>さくら祭り</td></tr><tr><td>メニューマップ作成</td></tr><tr><td>伊丹ショッピングデパート</td><td>秋の生活応援フェア(抽選会)</td></tr><tr><td>伊丹郷町商業会</td><td>第21回 伊丹郷町屋台村</td></tr><tr><td>ポントン名店会</td><td>ガラボン抽選会</td></tr><tr><td>宮ノ前商店会</td><td>愛染祭り</td></tr><tr><td>阪急駅東商店会</td><td>ガラボン抽選会</td></tr><tr><td>リータ商店会</td><td>クリスマス抽選会</td></tr><tr><td>伊丹中央サンロード商店街振興組合</td><td>写真展</td></tr></table>	商店街等名称	事業名	伊丹酒蔵通り協議会	まち灯りと鳴く虫	冬のまち灯り	酒蔵通りNEWS	西台商店会	西台流しそうめん大会	さくら祭り	メニューマップ作成	伊丹ショッピングデパート	秋の生活応援フェア(抽選会)	伊丹郷町商業会	第21回 伊丹郷町屋台村	ポントン名店会	ガラボン抽選会	宮ノ前商店会	愛染祭り	阪急駅東商店会	ガラボン抽選会	リータ商店会	クリスマス抽選会	伊丹中央サンロード商店街振興組合	写真展
商店街等名称	事業名																									
伊丹酒蔵通り協議会	まち灯りと鳴く虫																									
	冬のまち灯り																									
	酒蔵通りNEWS																									
西台商店会	西台流しそうめん大会																									
	さくら祭り																									
	メニューマップ作成																									
伊丹ショッピングデパート	秋の生活応援フェア(抽選会)																									
伊丹郷町商業会	第21回 伊丹郷町屋台村																									
ポントン名店会	ガラボン抽選会																									
宮ノ前商店会	愛染祭り																									
阪急駅東商店会	ガラボン抽選会																									
リータ商店会	クリスマス抽選会																									
伊丹中央サンロード商店街振興組合	写真展																									

442	中小企業等の起業・経営支援			
442011	創業支援事業	商工労働課		
【事業概要・成果】 ・市内における起業者の輩出。 ・経営者の意識改革や経営革新につながる機会の提供。 ・経営革新セミナーやコミュニティビジネス創業セミナー、女性に特化した創業支援講座の開催。				
【セミナー参加状況】				
セミナー名		参加人数		
		R3	R4	R5
女性創業塾		26	44	42
経営革新セミナー		56	51	102
コミュニティビジネス創業セミナー		35	35	47
創業塾(※)		16	17	18
総計		133	147	209
※伊丹商工会議所主管事業				
【創業支援補助金 申請件数】				
R3	R4	R5		
19件	18件	22件		
市内で新たに創業する者に対し、新設事業所の初期設備や賃借料等の一部を補助し、起業者の負担を軽減することで起業者を増加させ、地域経済の活性化と雇用の創出を図ることを目的とする。				
・令和5年度申請件数:22件				

442020	中小企業振興融資制度	商工労働課												
【事業概要・成果】														
・中小企業者への各種融資 市内の中小企業が必要とする資金を円滑に供給。令和5年度は、実行件数35件・実行総額175,500千円となった。県の融資制度の利率が市の融資より有利なことから実績は伸び悩んだ。 前年度に引き続き、業績の悪化等で売上高が減少するなど経営に支障が生じている中小企業者に対し、セーフティーネット保証融資に必要な中小企業信用保険法に基づく認定事務を行い、融資までの手続きの短縮のため、即日で認定書を交付した。														
【各種融資件数】(金額単位:千円) <table><tr><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>73件</td><td>66件</td><td>35件</td></tr><tr><td>429,350</td><td>460,900</td><td>175,500</td></tr></table>			R3	R4	R5	73件	66件	35件	429,350	460,900	175,500			
R3	R4	R5												
73件	66件	35件												
429,350	460,900	175,500												
【認定書交付件数】 <table><tr><td>認定申請</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>セーフティ4号認定コロナ</td><td>118件</td><td>149件</td><td>199件</td></tr><tr><td>セーフティ5号(イ)認定</td><td>57件</td><td>69件</td><td>111件</td></tr></table>			認定申請	R3	R4	R5	セーフティ4号認定コロナ	118件	149件	199件	セーフティ5号(イ)認定	57件	69件	111件
認定申請	R3	R4	R5											
セーフティ4号認定コロナ	118件	149件	199件											
セーフティ5号(イ)認定	57件	69件	111件											

大綱4 市民力・にぎわい・活力

443	地域産業の振興と企業活動支援	
443020	産業振興センター管理運営事業	商工労働課

【事業概要・成果】
本市の産業振興の推進を図るため、指定管理者である伊丹商工会議所の専門性を活かした相談事業（経営相談等）や、人材育成を目的とした講座やセミナー等を実施した。コロナ禍ではオンラインを活用した講座やセミナーを中心に実施していたが、令和5年度は、コロナ5類移行を踏まえて会場（現地）でのセミナーを中心に事業を実施し、市内事業者を支援した（令和3年度、令和4年度はワクチン接種会場として使用しており、その人数を含む）。

【センター利用状況】（単位：人）

年度	会議室 (3室)	相談室 (2室)	端末操作等(貸出含む)	マルチメディア ホール	来館者数 (小計)	セミナー(自会場/ オンライン)	セミナー(他会場/ オンライン含)	合計
R3	91,025	4,957	68	59,427	155,477	7	336	155,820
R4	18,486	833	70	25,281	44,670	8	177	44,855
R5	10,034	428	108	21,746	32,316		57	32,373

443041	産業振興施策推進事業	商工労働課
--------	------------	-------

【事業概要・成果】
エネルギー・食料品価格等の価格高騰の影響を受けた生活者の消費を下支えし、併せて商店街等の負担緩和を図るため、兵庫県の補助制度を活用して商店街等が取り組むプレミアム付商品券の発行を支援。

商品券は1冊12,500円分を10,000円で販売し（プレミアム率25%）、利用期間は11月1日から12月31日の2ヶ月として実施した。
累計換金率は99.9%を達成するなど、生活者ならびに事業者等を支援した。



443051	企業立地支援事業	商工労働課
--------	----------	-------

【事業概要・成果】
製造業を中心とした工業系事業所の立地を促進するために、平成21年1月に伊丹市企業立地支援制度の運用を開始した。平成29年6月に制度を見直し、認定要件の緩和や補助メニューの拡充等を行いつつ、一定要件のもと事業所を新設・増設・移設、賃借等する事業者等に対して奨励金等の支援を行っている。
令和5年度は、既存認定企業への補助を適切に実施し、制度利用に繋がるよう積極的な制度周知に取り組み、新たに2件認定した。

年度	R3	R4	R5
企業立地計画 認定件数	0件	1件	2件

451	都市農業の基盤強化	
451010	都市農業振興推進事業	農業政策課

【事業概要・成果】
・農産物品評会ならびに都市農業推進大会を開催し、都市農業における農産物の品質向上に取り組むとともに、持続可能な農業経営について考える機会とした。

【農産物品評会】
日 時：令和5年12月5日（火） 7:00～ 会場：公設市場

【都市農業推進大会】
日 時：令和5年12月20日（水） 13:30～
会 場：市庁舎 会議室

・都市農業を支える人材づくりとしての認定農業者制度については、新たに1法人を認定した。

【認定農業者数】（令和6年3月31日現在）

認定年度	認定数
R3	2件
R4	1件
R5	2件

大綱4 市民力・にぎわい・活力

451020

農地利用促進事業

農業政策課

【事業概要・成果】

農地活用の推進を目的として、民間の市民農園開設のための協定締結を2件(次年度開設 1件、継続更新1件)、都市農地貸借法にもとづく農地借用のための事業計画認定を15件(新規4件、継続更新11件)実施した。

【民間開設の市民農園】(令和6年3月31日現在)

年度	園数	区画数	面積(㎡)
R3	13	359	9,112
R4	17	404	10,587
R5	17	420	11,242

(福祉農園を含まない)

【事業計画認定による貸借】(令和6年3月31日現在)

年度	件数	面積(㎡)
R3	19	22,723
R4	19	21,647
R5	21	22,830

451060	農地機能発揮事業	農業政策課																																		
【事業概要・成果】 市民が農業体験を通じて農業、食育に対する意識を深めてもらうことを目的に、市家庭菜園運営および観光農園等の支援を行った。 学童が農作業に親しみ、食に関する関心を深めることを目的にPTA、地区農会長等の協力を得て市内2小学校に学童農園を設置した。 防災協力農地登録の登録筆数は前年度並で推移した。		【市営家庭菜園】(令和6年3月31日現在) <table><tr><th>年度</th><th>園数</th><th>区画数</th><th>面積(㎡)</th></tr><tr><td>R3</td><td>22</td><td>780</td><td>19,078</td></tr><tr><td>R4</td><td>22</td><td>778</td><td>19,078</td></tr><tr><td>R5</td><td>22</td><td>777</td><td>19,078</td></tr></table> 【観光農園】 <table><tr><th>地区</th><th>作物</th><th>面積(㎡)</th></tr><tr><td>東野</td><td>サツマイモ</td><td>4,170</td></tr></table> 【学童農園】 <table><tr><th>学校名</th><th>設置場所</th><th>面積(㎡)</th><th>作物名</th></tr><tr><td>南 小学校</td><td>御願塚地区</td><td>650</td><td>ジャガイモ</td></tr><tr><td>池尻小学校</td><td>池尻地区</td><td>1,129</td><td>サツマイモ</td></tr></table>	年度	園数	区画数	面積(㎡)	R3	22	780	19,078	R4	22	778	19,078	R5	22	777	19,078	地区	作物	面積(㎡)	東野	サツマイモ	4,170	学校名	設置場所	面積(㎡)	作物名	南 小学校	御願塚地区	650	ジャガイモ	池尻小学校	池尻地区	1,129	サツマイモ
年度	園数	区画数	面積(㎡)																																	
R3	22	780	19,078																																	
R4	22	778	19,078																																	
R5	22	777	19,078																																	
地区	作物	面積(㎡)																																		
東野	サツマイモ	4,170																																		
学校名	設置場所	面積(㎡)	作物名																																	
南 小学校	御願塚地区	650	ジャガイモ																																	
池尻小学校	池尻地区	1,129	サツマイモ																																	
【防災協力農地登録について】(令和6年3月31日現在) <table><tr><th>年度</th><th>筆数</th><th>登録者数</th><th>面積(㎡)</th></tr><tr><td>R4</td><td>26</td><td>12</td><td>19,637</td></tr><tr><td>R5</td><td>26</td><td>12</td><td>19,672</td></tr></table>		年度	筆数	登録者数	面積(㎡)	R4	26	12	19,637	R5	26	12	19,672																							
年度	筆数	登録者数	面積(㎡)																																	
R4	26	12	19,637																																	
R5	26	12	19,672																																	

452

農作物の生産・流通の推進

452010

農業活性化支援事業

農業政策課

【事業概要・成果】

市内の農業者による農作業の効率化等を目的とし、抜本的かつ総合的な支援を行った。また、小・中学校給食センターと連携し学校給食出荷に対する奨励支援事業も行った。

令和5年度 都市農業活性化推進事業補助金 交付実績

事業名	補助率	上限	交付決定額
有機農業推進事業【中核農家】	1/2	150,000円	1,737,211円
有機農業推進事業【認定農業者】	1/2	200,000円	266,837円
有機農業推進事業【その他農家】	1/2	100,000円	382,897円
施設園芸振興事業(新設)	1/5	300,000円	38,423円
施設園芸振興事業(維持)	1/5	50,000円	402,655円
中核農家等農機具補助事業(購入)【中核農家】	1/5	100,000円	876,237円
中核農家等農機具補助事業(購入)【認定農業者】	1/5	150,000円	150,000円
環境創造型農業推進事業	1/2	100,000円	100,000円
ブランド化推進事業	1/2	50,000円	508,708円
学校給食出荷奨励事業	50kgで2,000円	-	322,360円
福祉施設委託推進事業	1/5	50,000円	31,906円
合計			4,817,234円

452020	農産物地産地消・販売推進事業	農業政策課												
【事業概要・成果】 小・中学校給食センターおよびJA兵庫六甲と連携し、学校給食に旬の市内産農産物の提供を推進した。 市内で生産された農産物をはじめ、市民の需要に応じた農産物等の販売を促進し、安全・安心な食及びこれを支える農に対する市民の理解を深めるため、公設市場の指定管理者である(株)伊丹公設市場管理センターと連携し、市民への情報発信を強化し、JA兵庫六甲の農産物直売所「スマイル阪神」等への集客を促進した。		【学校給食へ提供された市内産農産物】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th><th>出荷数量(kg)</th><th>品目</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td><td>7,379</td><td>6</td></tr> <tr> <td>R4</td><td>8,822</td><td>6</td></tr> <tr> <td>R5</td><td>8,126</td><td>7</td></tr> </tbody> </table>	年度	出荷数量(kg)	品目	R3	7,379	6	R4	8,822	6	R5	8,126	7
年度	出荷数量(kg)	品目												
R3	7,379	6												
R4	8,822	6												
R5	8,126	7												
・農産物直売所「スマイル阪神」の年間売上額…844,346千円														
		【農産物直売所「スマイル阪神」】												

大綱4 市民力・にぎわい・活力

452040	公設市場管理運営事業	農業政策課
【事業概要・成果】 伊丹市公設市場は、平成31年度より利用料金制による指定管理施設（指定管理者(株)伊丹公設市場管理センター）として運営している。 令和4年度に引き続き、公式ホームページ、SNS等での情報発信の強化を図り、公設市場のPR及び活性化につながった。SNSアクセス数は令和4年度と比べ9%増加した。 ・公設市場利用者数…17事業者 ・駐車場利用台数…72台 ・SNSアクセス…201,791回（フェイスブック:53,640回 インスタグラム:148,151回）		 

461	就労支援と勤労者福祉の向上		
461010	雇用奨励金支給事業	商工労働課	
【事業概要・成果】 市内在住の障がい者を常用労働者として雇い入れた市内の事業主に対して奨励金を交付し、障がい者の長期雇用の促進に努めた。			
【障害者雇用奨励金交付状況】			
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
交付件数(人数)	8件(6名)	10件(8名)	9件(6名)
交付金額	480千円	600千円	540千円

461020	若年者就労支援事業	商工労働課																		
【事業概要・成果】 平成30年に兵庫労働局と締結した雇用対策協定に基づき、本市高等学校新卒者の正社員雇用に向けた働きかけを実施し、19名が市内企業へ就職した。 また、ハローワーク伊丹と連携した合同就職面接会を3回開催し、9名の市内企業雇用を創出した。 また、市内中小企業の若年者人材確保を目的とした奨学金返済支援事業においては、11件の申請があり、令和4年度申請分と合わせて33件の支援を実施した。		【奨学金返済支援事業 実施状況】 令和4年度 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>申請件数</th><th>支給額(千円)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度(新規)</td><td>27</td><td>1,484</td></tr> </tbody> </table> 令和5年度 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>申請件数</th><th>支給額(千円)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年度(新規)</td><td>11</td><td>570</td></tr> <tr> <td>令和4年度(継続)</td><td>22</td><td>1,212</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>33</td><td>1,782</td></tr> </tbody> </table>		申請件数	支給額(千円)	令和4年度(新規)	27	1,484		申請件数	支給額(千円)	令和5年度(新規)	11	570	令和4年度(継続)	22	1,212	合計	33	1,782
	申請件数	支給額(千円)																		
令和4年度(新規)	27	1,484																		
	申請件数	支給額(千円)																		
令和5年度(新規)	11	570																		
令和4年度(継続)	22	1,212																		
合計	33	1,782																		

461050

労働相談事業

商工労働課

【事業概要・成果】

労働問題や就労に関する問題解決に向け、専門的な知識を有する社会保険労務士による労働相談を、毎月第1、3土曜日の午後、労働福祉会館(スワンホール)で実施。49人(113件分)の利用があり、労働者が安心して働ける労働環境づくりを支援した。

【労働相談の状況】

(単位:件)

相談内容	R3	R4	R5
賃金	8	5	9
労働時間・休暇	9	11	9
退職・解雇	17	14	20
就業規則	7	3	7
労働組合(法)関係	3	0	4
雇用保険等	16	26	20
労働災害	7	10	6
就労に関すること	4	5	11
その他	10	21	27
計	81	95	113

大綱4 市民力・にぎわい・活力

461060

労働福祉会館管理運営事業

商工労働課

【事業概要・成果】

勤労者福祉の拠点施設として運営してきた労働福祉会館については、令和元年度の大規模改修工事を経た後、令和2年4月から中央公民館・青少年センター・市民まちづくりプラザとの新たな複合施設として開館した。

令和5年度はコミュニケーションやデータ分析等の講座や、スワンホール夏祭りなどの各種事業を実施。新たな指定管理者のもと、利用人数は増加傾向にある。

【施設利用者数の推移】

年度	R3	R4	R5
来館者数(人)	147,159	187,588	191,589



471	空港周辺の活性化									
471030	伊丹スカイパーク管理運営事業	公園課								
【事業概要・成果】 ・指定管理者による施設の適切な管理・運営を実施するとともに、ビアガーデンやキッチンカーフェスティバルなど来園者が楽しめる新規イベントを開催するなど魅力的な公園づくりに取り組み、来園者からの高い満足度を得ることができた。 ・年間来園者数は酷暑の影響もあり、目標の750千人を達成することができなかった。 <table><tr><th>年度</th><th>年間来園者数</th></tr><tr><td>R3</td><td>642千人</td></tr><tr><td>R4</td><td>666千人</td></tr><tr><td>R5</td><td>607千人</td></tr></table>			年度	年間来園者数	R3	642千人	R4	666千人	R5	607千人
年度	年間来園者数									
R3	642千人									
R4	666千人									
R5	607千人									
 ビアガーデンイベント										